

発達障害支援スーパーバイザー養成研修

こんにちは、ゆいの中村です。

ゆいは、年間200名近くの見学者が来られます。

最近は見学ではなく実施研修の申込も多くなってきています。

そういった中で、今年度は日本財団助成事業の発達障害支援スーパーバイザー養成研修の受け入れも行いました。

今回は、その研修についてご報告させていただきたいと思います。

『発達障害支援スーパーバイザー養成研修とは』

大分県で行われた養成研修を日本財団の助成を受けて、今年度、全国版として大分めぐみ園が事務局となって実施しました。以下、募集要項からの抜粋です。

【目的】

日本ではスーパーバイザーの不足から教育や福祉の現場でのスーパービジョンがなごりにされ、理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。そのため、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員及び発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の各分野の実務に携り、一定の実務経験のある方を対象に、第一人者による講義と全国自閉症者施設協議会加盟施設での実務研修、さらには当事者の方々への支援や事例研究を通して関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成します。

【研修内容】

中央研修（3日間×2回・14講義） 実務研修（2機関・各4日間程度）

当事者活動参加（3回）

【受講資格】

- ①発達障害者支援センター及び自閉症関係施設の職員で3年以上の実務経験を有する者
- ②発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する者

※いずれも所属機関若しくは団体の推薦状を添付してください。



今研修の発起人でもあり
全国自閉症者施設協議会会長
社会福祉法人 萌葱の郷五十嵐理事長



中央研修の様子
90名の方が参加者されています

はるにれの里では、受け入れ窓口をゆいで行い、9月・10月・11月の3回に分けて、9名の方の受け入れを行いました。

地元北海道から九州まで、全国各地から参加していただきました。

北海道の新しいつ幸生園 岩手県発達障がい者支援センター 静岡県発達障がい者支援センター 昭島生活実習所（東京都） 神奈川県生活工房 樹の実園（大分県） 菜の花会しもふさ工房・アーアンドディーだいえい（千葉県）

はるにれの里の実務研修では、4日間のプログラムを作成しました。

発達支援スーパーバイザー研修として、成人重度の自閉症の支援にとどまらず、幅広く見たり考えたりできるような、ご期待に沿えるだけのプログラムが立てられたのかはわかりませんが、法人全体の事業展開はイメージしていただけただかと思っています。

研修では、皆さんとの意見交換も貴重な時間となりました。

『本人たちの気持ち・思い』を考えると、それは参加された皆さんに共通しているご意見だったと思います。

- ・本人たちの楽しみのスケールを知る
- ・本人視点でのゆいに通ってくる意味
- ・ニヤリハット

その他沢山のご意見をいただきました！

研修の受け入れは大変ではありましたが、さまざまな視点での意見交換に加え、外部の方が各ユニットや作業などの実習に入ることによって、現場の職員にもいい刺激になったのではないかと思います。



月日	時刻	内容
1 日目	9:00	オリエンテーション
	10:00	法人の理念と概要
	11:00	おがる説明
	12:00	ゆいの事業と役割
	12:00	休憩(ゆい)
	13:00	はるにれの自閉症支援について
	14:00	自閉症の理解
	14:00	はるにれの自閉症支援について
	15:00	構造化等について
	15:00	館内見学
		質疑応答及び意見交換
2 日目	9:30	オリエンテーション
	12:00	生活介護 Cブロック実習
	12:00	休憩・昼食
	13:00	
	13:00	ケース報告
	14:00	グループホーム見学
	16:00	
	16:00	地域で支える仕組み作りと課題
		質疑応答及び意見交換
3 日目	9:30	オリエンテーション
	10:00	個別支援計画と地域移行
	10:40	
	10:40	移動
	11:30	
	11:30	法人内研修参加
16:00	地域職員研修会	
		質疑応答及び意見交換
4 日目	9:30	ゆい発
	10:00	生活介護事業所 さりゅう着
	10:50	生活介護事業所 あらいぶ着
	11:40	放課後デイサービス よかつち
	13:00	多機能型事業所 きのこ村
	14:15	多機能型事業所 ポロレ
	15:00	就労移行事業所 あるば
	16:30	閉講式